

# 同窓会報

平成24年度春季号

発行 宮城県仙台第二高等学校  
 同窓会  
 仙台市青葉区川内濼橋通一  
 ☎二二一五六五(直通)  
 印刷 創文印刷出版株式会社  
 仙台市青葉区春日町八番三四号

## 目次

会長就任あいさつ .....	2
24年度同窓会総会案内 .....	3
校長あいさつ、前校長あいさつ .....	4
理事会活性化委員会報告 .....	5
支部・同期会報告、同窓生寄稿 .....	6～8
応援歌探訪、23年度卒業式・同窓会入会、24年度入学式 .....	9
定期戦、24年度在籍数 .....	10
「創立百周年記念事業・校内環境整備基金」に関するお願い、寄付者名簿 .....	10～11
24年度大学合格状況 .....	12
同窓会費納入状況、原稿募集 .....	13
回期別会費納入率・納入額上位、会費納入について、寄贈本・寄贈絵画、 23年度事業報告、24年度事業案、高64回生常任委員、学校評議員、受賞 .....	14
【一般会計】23年度決算報告、24年度予算案 【特別会計】23年度決算報告 .....	15
24年度教職員人事異動、訃報、北陵祭での同窓会ブースへの作品出展のお願い、次号締切、編集後記 .....	16

## 就任挨拶

会長 大井 龍司 (高10回)



この度、図らずも宮城県仙台第二高等学校同窓会の第5代会長を拝命した高校10回卒の大井です。ひと言、就任の挨拶を申しあげます。

延べ会員数がおよそ三万人にも及ぶ歴史と伝統に輝く大同窓会の会長をお引き受けし、その責任の重大さを痛感するとともに身の引き締まる思いでおります。本校創立後は暫時、その時の校長が同窓会長を兼任していましたが、創立五十年を期して、卒業生が会長を務めることになり、昭和二十四年に星廉平先生がOBとしての初代会長に就任、以後金子太郎先生、堀田康哉先生、西澤潤一先生と引き継がれてきました。長期間にわたり在任され、幾多の困難を克服し

て本会の発展・充実のために尽くされた歴代の会長各位には、深い敬意と深甚なる感謝の意を表したいと思えます。

冒頭「歴史と伝統」と申しました。その歴史とは、文字通り一九〇〇年創立以来百十一年に及ぶ長い歴史です。ところで伝統とは、仙台二中・二高の伝統とは何か、それは本校創立以来「至誠業に励み・雄大剛健の風を養い・ともに敬愛切磋を怠らず」との教育目標の元に育まれてきた精神、それは表面的な学力つまり進学に繋がる学力向上の教育だけではなく、将来有為な人材として羽ばたくために必要とされる三育、即ち知育・徳育・体育を徹底することから得られる自主自立の精神、それが母校の伝統であります。私は、先般同窓会長としてはじめて述べた入学式の祝辞の中で、新入生諸君に対してこの素晴らしい伝統を必ずや受け継ぐべしとその決意を促し、さらに同席した保護者の皆さんに

も、仙台二高は大学受験のためだけの学校ではないということへの理解を強く求めました。

実は今回同窓会長にという話を頂いたときには、もとより浅学非才の身、その荷の重さから辞退いたしました。しかし然るべき手続きを踏んだ上での推薦であるからとこのことで、最終的にはお引き受けした次第です。私にとってには身に余る光栄なことです。また私は生来物事をいい加減にはできない性質でありますので、一旦承諾すれば必ずそれを果たすという「季布の一諾」を引き受けた以上は誠心誠意、母校ならびに母校同窓会のために残されたエネルギーを傾注する覚悟しております。とは云え、あまり背伸びすることなく、己の身の丈に合った姿勢で責務を果たす所存です。今回会長をお引き受けした理由の一つに母校仙台二中・二高への恩返し気持があります。私の父から長男まで男子七名全員が本校の卒業生で、母校には本当にお世話になりました。しかも父は、中5回卒で星廉平先生と同級で親友、また次兄は中32回卒で堀田康哉先生と同級、大学も

同窓ということ、まさに管鮑の交わりでありました。とこのことで今回の会長就任は、何らかの縁(えにし)あり、と勝手に解釈させて頂いています。

昨年は未曾有の大震災が私どもの東日本を襲いました。そして今年はそのからの復旧・復興元年と云われています。勿論、被災地にとっては復興が喫緊の課題であることに論を待ちません。しかしわが国の問題はそれだけでは済まされません。四十年前、英国の詩人であり思想家でもあったJ・カーナップが、わが国の将来の経済破綻、破滅的震災を予測し、日本国民だれもがゼロから再出発しなければと警鐘を鳴らしていました。まさにそれが昨年現実化した今、私は被災地の復旧・復興だけに留まらず、わが国全体の再生、新たなスタートが必須であろうと思えます。そのためにはまず、個々の国民の意識改革が求められますし、さらには全体をリードする真のエリートの出現が望まれます。昨今わが国に蔓延する「悪しき平等主義や効率主義」の風潮は、確固たるリーダーの

出現の妨げになっていることは明らかであり、それを払拭しなければなりません。しばしば旧制中学、旧制高校は真のエリートの養成機関であったと云われています。終戦当時旧制一高の校長であった天野貞祐氏は、GHQの命令による旧制高等学校の廃止に伴う新学制への移行はわが国の社会的・歴史的条件を無視したものであり、母国の将来を危うくするものであると云い、校長を辞められました。

ここで些か話しの飛躍を許していただいて、先般宮城県の高校教育に波紋を投げかけた男女共学化問題に触れなければなりません。私は個人的には男女「別学」を支持する者です。ただ、同窓生諸兄の中には共学支持、別学支持、双方あることを承知していただき、また考え方に多様性があるのは当然です。しかし国内外、真のエリートを輩出しようとの学風をもつ高校の多くは男子校であります。わが母校仙台二高もまたその学風ありと信じています。さらに本件に関する多くの研究結果が別学の優位性を証明しており、わが国に共学制を押し付

けた米国でさえ、いまや別学化への動きが活発になっていきます。ここではこれ以上共学か別学かの議論を展開することは止めじます。ただ私が別学を支持するのは単に郷愁に駆られたものではありません。同じく戦後、GHQが強要した男女共学制に抗して守り続けた宮城県のユニークな高校教育文化が、男女共同参画の名のもとに平準化され、仙台二高が「普通の高校」になってしまったことをいかにも残念に思うのです。

しかし既に賽は投げられました。しかも優れた資質を有する女子生徒たちが懸命に勉強やサークル活動に励んでいる姿を目の当たりにし、同窓会としては当座静観すべきでありましょう。ただ私は、現時点において以下の二点を強調いたします。第一点は県の教育行政関係者は、共学後の結果を単に事務处理的観点からではなく、ある時期に今度こそ真に教育的見地から検証すべきであること、第二点、母校には共学後の男子・女子生徒をどのように育てるのか、確固たるビジョンを持つてほしいということです。

わが同窓会は未だ共学問題の後遺症を引きずっており、それが総会への参会者数減、年会費の納入率低下に表れています。各支部会の活動は従来どおりと伺っていますので、同窓会全体の活動の沈滞傾向の責任は、主として地元本部にあるものと認識しています。この度一新された理事会メンバーも若返り、全員一丸となつてその活性化を図ろうと、また旧弊を改め新機軸に取り組もうと意気盛んです（本会報別稿参照）。同窓会本部としての求心力を取り戻し、地域社会に於ける仙台二高同窓会の存在感を高めることによつて、若い同窓生や一步距離を置いていた会員諸兄を引き付け、是非とも同窓会の活性化に繋げたいと考えています。幸い同級三三会諸兄の後押しもあり、齢七十、古希を過ぎてでもなお「老いては当に益々壮なるべし」と心に期し、母校ならびに本同窓会の更なる発展・充実のためににおおいに力を尽くす所存ですので、会員諸兄の絶大なるご支援ご協力を衷心よりお願い申しあげて、私の就任の挨拶といたします。

## 平成24年度 同窓会総会のご案内

1. 日 時：平成24年7月7日（土） 総 会16時30分（受付開始は16時）  
特別講演17時  
懇 親 会18時
2. 場 所：江陽グランドホテル <地下鉄広瀬通下車 西一番出口徒歩0分>  
TEL：022-267-5111
3. 懇親会費：6,000円（学生の方は2,000円）
4. 申込締切：6月29日（金）  
★懇親会費は当日、会場でお支払いください。  
★出席申込は、下記の申込先へ、FAX又は電話でお願いします。
5. 申 込 先：〒980-8631 仙台市青葉区川内澁橋通1  
仙台二高同窓会事務局 TEL 022-221-5651 FAX 022-221-5686
6. 当 番 回 期：高23、35、36、47、48回  
上記回期の方々は評議員、常任委員を中心にご協力をお願いします。
7. 関連企画
  - ・特別講演  
講師 マーティン・キーナート氏（楽天野球団シニアアドバイザー、仙台大学副学長）
  - ・母校案内ツアー（当日総会前実施、別途案内）

《なお、同窓会年会費は総会当日、会場受付でも納入可能です。》

同期の方、クラブの方、お誘い合わせの上、多数ご参加ください。

# ご挨拶

## 校長



### 渡邊 幸雄 (高26回)

今年の春の訪れは遅れ、本校の桜も理科棟東側の桜が四月十八日にやっと開花したところ。四月二十八日の大運動会は、満開の中の開催となりました。同窓生の皆様方におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃より母校の教育活動に對しまして、物心両面のご支援、ご協力をいただいておられますことに心より厚く感謝申し上げます。

私こと、このたび、四月一日付けで宮城県教育研修センターから異動し、本校に着任いたしました。三十八年ぶりの母校です。着任の日、仲の瀬橋にさしかかると、眼下には広瀬川の清流が、そして前方には、木立に囲まれた本校の校舎がそびえ立つ光景が開けてきました。奥には、青葉山や、宮城県美術館そして東北大学など、杜の都・学都仙台を象徴するような光景です。あらためて、伝統ある母校に奉職することに、そして責任の大きさに身の引き締まる思

いでした。

今年度の入学式には、大井龍司会長のご臨席を賜り、三二〇名の新入生を迎え、新学期がスタートいたしました。現在、応援団幹部の指揮の下、定期戦に向けて熱の入った応援練習が行われており、定期戦等を経て、新入生も名実ともに「二高生」になっていくことでしょう。硬式野球部は、現在(四月二十一日)、開幕した中部地区大会で二連勝し、春季県大会出場に王手をかけています。対一高定期戦においては、試合でも応援でも、一高を圧倒してくれるものと確信しております。

また、昨年末、マスコミでも大きく取り上げられた化学部の生徒諸君による「Journal of Materials Science」への論文掲載を初めとして、学芸部活動、研究活動でも、各部とも顕著な実績を収めております。このように、「文武一道」の精神は脈々と後輩の生徒諸君に受け継がれております。

今年度は、創立一一〇周年記念事業の最終年度にあたります。これまでの「伝統が息づく新しい仙台二高 校内環境整備基金」へのご支援に、あらためて感謝申し上げます。校内では、五月一日の創立記念日に天江喜七郎先生(高14

回)をお迎えし、ご講演をいただきます。生徒諸君には、このようなすばらしい体験を通して、志を持って学校生活をおくり、そして社会に、世界に羽ばたいて欲しいと思っております。

最後に、同窓会の今後のま

# 退任にあたって



### 庄司 恒一 (高22回)

すますのご発展と、同窓生の皆様のご健勝をお祈り申し上げますとともに、母校に對しまして変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。近況報告を兼ねてのご挨拶といたします。

風薫る爽やかな季節となりました。同窓生の皆様方には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて私こと、この三月をもちまして母校宮城県仙台第二高等学校を最後に定年退職いたしました。この間三十五年にわたり、数多くの生徒たちや教職員、PTA・同窓生の方々などとの貴重な出会いの中で充実した日々を送ることができました。これも偏に皆様方に賜りましたご支援、ご指導の賜物と深く感謝申し上げます。

振り返ってみますと、この四年間は前会長西澤潤一先生を始め同窓生の皆様方には心

温まるお力添えをいただきました。厚く御礼申し上げます。

平成二十年には、英国イートン・カレッジとのスポーツ交流実現に向け限られた時間の中で迅速に對応していただき成功裡に終えることができました。また、平成二十二年には本校創立一一〇周年を迎えましたが、記念事業の推進におきまして一方ならぬご支援を賜り、盛大に記念式典・祝賀会を開催するとともに、記念事業として学習、部活動の環境を改善していただきました。ただ残念なことは、事業推進の先頭に立っていただいた前同窓会理事の中條克浪氏(高27回)が道半ばで急逝されたことであります。母校に對し人一倍熱い思いをもち献身的にご協力いただきました。改めてご冥福をお祈りする次第です。事業期間は残り一年となりましたが、引き続きご支援の程宜しくお願い申し上げます。

さらには、昨年の東日本大

震災に際しましても各方面よりご心配をいただいたところでしたが、幸いにして学校の被害は軽微でした。一部の生徒・職員が被災致しましたが、いち早く被災生徒へのご支援をいただき落ち着いて学校生活に打ち込むことができ、お陰様で晴れて進級・卒業となりました。

また、各支部や職域の北陵会にもお招きをいただき、同窓諸兄と親しく懇談する機会を持てましたことは同窓生としてこの上ない喜びでした。お心遣いに重ねて感謝申し上げます。また皆様とお会いできる日を楽しみにしております。

これから仙台二高は、学業は勿論、部活動等の成果に周囲の期待が益々高まる中、創立一二〇周年に向かうこととなります。どうか母校に對しまして今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。私も一同窓生として母校を見守り応援して参る所存であります。

ご承知のように後任の第二三代渡邊幸雄校長は本校26回生でかつての同僚でもあり心強い限りです。豊富な経験と高い見識をもった方ですので、私同様宜しくお願い申し上げます。

末筆ながら、同窓諸兄の益々のご健勝をお祈り申し上げますとともに、同窓会の更なる隆盛と母校の限らない発展をご祈念申し上げ御礼かたがた退任の挨拶とさせていただきます。

# 活性化委員会の活動報告

同窓会副会長 鈴木 誠一（高22回）

同窓会副会長に推挙された時、私は、「明るく楽しい同窓会作りの為に、『活性化』をキーワードに、知恵を絞り、汗をかきます。」と言いました。このたび、早々に活性化委員会を立ち上げ、「活性化」のための具体的な行動をとっております。

活性化の目的、基本理念は次の三点です。

- 一、母校への物心両面の支援、母校と同窓会の発展に寄与します。
- 二、特に、若い世代、女性会員が気軽に楽しく集える同窓会をめざします。
- 三、横軸の回期、縦軸のクラブの常任委員の充実を図り、ネットワークを広げ、隠れた多くの同窓生に、同窓会への主体的な関わりを持っていただき

ます。  
活性化委員会はまずもって、基本である横軸の各回期同窓会一名の評議員、数名の常任委員の、評議員会への参加を

強化します。現状は、積極的な回期と、評議員会に一度も出席しなかった回期とがあります。理事各位に担当を決め、出席しなかった回期に、電話で出ていただくように強くお誘いしています。あわせて同窓会活性化への提言、意見を聴きとっております。評議員の反応が芳しくない時は、責任をもって替わりのメンバーを登録していただいております。名前だけの実効のない評議員には交替していただくようにしました。次に、回期同窓会の名簿管理です。回期同窓会に名簿管理者を決めていただき、住所移転者は必ず各回期同窓会の名簿管理者に移転先を連絡していただきます。各回期同窓会の名簿管理者は、少なくとも年に一度は、事務局まで転居先を連絡していただきます。できるだけリアルタイムの名簿管理を進めます。同窓会総会、P同懇親会開催においても、同様に回期同窓会への働

きかけを強化します。

縦軸のクラブの常任委員は、次回の評議員会から必ず出席していただき、クラブの現状と問題点を指摘していただきます。私がお世話になったラグビー部では、57回卒業馬場健太郎君に評議員会に三度出ていただいております。馬場健太郎君には、57回の回期とともめもお願いしております。多くのクラブの常任委員に出ていただくよう強くお誘いをいたします。クラブの常任委員の新設は、まだOB会組織のないクラブに、各クラブのOB会を創設するきっかけにさせていただきます。例えば、一度自然消滅した応援団も、応援団OB諸氏のご尽力により、見事復活しました。

縦軸のクラブは、横軸の回期と連動する事によって、同窓生と生徒をつなげる太い絆となります。縦軸のクラブが特に若い層に広がれば、横軸の回期のアクティブな常任委員の人材発掘にもつながります。若い世代を広げていく意義からも、まずは運動部でできるだけお声がけして、評議員会の席に多くのクラブの常任委員についていただきました

思います。運動部、学芸部の各クラブOB会におきましては、早急に各クラブ総会を開催していただき、できるだけ、実際に現役のご指導やお世話をさせていただいている若手の数名のクラブ常任委員の選出をお願いいたします。まだOB会を持たないクラブにおいては、これを機に、新たにクラブOB会を立ち上げてほしいと思

同窓会旗の下に、「二高への母校愛」、「ホームカミング」を果たすべく、ゆるやかに一つに和合します。  
①総会出席人数、②評議員会出席人数、③同窓会費納入金額、この三点に、数値目標と達成期限を設けて、活性化致します。仙台二高同窓会が、地域社会においてより一層、存在感を高め、多くの同窓生が集いたくなるような魅力ある同窓会になるよう大井龍司新会長の下に理事一同、努力いたします。

「北陵祭への同窓会参加」「年間最優秀クラブ活動への表彰」など、活性化策として様々なイベントを考えております。

今後の我々理事の使命は、若い世代に、同窓会の輪をどう広げていくか、特に女性の同窓生に主体的にどう関わっていただけるかの仕組み作りと考えております。多くの同窓生に、同窓会への主体的なかわりを持っていただくように、できることから行動しております。  
仙台二高の歴史と伝統に誇りを持ち、仙台二高同窓会が



同窓会の活性化へ向け、活発に意見が交わされる理事会

# 支部総会 開催報告

## 岩手北陵会便り

鈴木 恒男 (高5回)



恒例となった本会は今年で三十回の節目となり、仙台二高本部から庄司恒一校長、山田修一郎理事、奥山雅敏同窓会事務局長のご三方の御来駕を賜り、平成二十四年一月二十八日、ホテルメトロポリタン盛岡で、十六名の会員のご参加を得て盛会裡に行われました。

本部の仙台二高同窓会会長

は今回西澤潤一会長が勇退され、大井龍司氏が引き継がれることになり、その議案で一月二十日に臨時総会が仙台で開催され、小生も出席しましたがが無事承認を得たことも報告いたしました。

最初に逝去された中44回氏 家 and 国殿 (前本会会長)、中47回渥美進殿に黙祷を捧げました。

ご挨拶で庄司校長からは仙台二高の現状、特に先日の全国の学力テストで好成績であったこと、臨時総会のお話、全国同窓会の状況等話をされましたが、庄司校長は本年三月でご退職とお聞きしました。しかしまだまだお若いのでこれからの活躍をお祈りいたします。

山田理事、奥山事務局長からもいろいろなお話をお伺いしましたが、当面、二高の校庭整備に取り組んでおられるとの事で、今回出席された皆様からの発議で誠に少額ではありますが「創立百十周年記念事業・校内環境整備基金」の寄付をさせていただきます。会の進行は例年のごとくで各自から近況報告、本会への要望、意見で談論風発、話が多岐におよび大爆笑、大拍手も出て楽しい会となったことを特記します。

最後に凱歌を歌って閉会となりました。

参加者

- 高1回 佐藤 秀雄
- 高3回 和田 謙郎
- 高4回 村守 英男
- 高5回 鈴木 恒男
- 高6回 宮沢 雄造
- 高11回 小林 秀樹
- 高12回 池野 達郎
- 高12回 亀井 将一
- 高13回 長沼 正朔
- 高19回 千葉 知
- 高20回 吉村 誠
- 高21回 吉江 信博
- 高23回 橋浦礼二郎
- 高23回 渡辺 昌洋
- 高25回 加藤 三博
- 高34回 町田 繁樹

## 東海北陵会総会開催報告

千葉 善根 (高9回)

平成二十三年十一月十二日

に、名古屋市内で第16回東海北陵会の総会・懇親会が開催された。

庄司校長先生、同窓会の柘澤副会長、同窓会事務局長の奥山先生の三名をお迎えし、高8回〜高32回の皆さん、計十九名が参加した。中でも、六十才未満の現役の方々も三名参加された。

会長の挨拶の後、同窓会本部の柘澤副会長の挨拶があり、本部の活動状況の紹介があった。特に、東北大震災被災者への応援や、仙台二高創立一〇周年記念事業としての校内環境整備事業などが紹介され、資金をどの様に確保するか苦労話も紹介された。

続いて、庄司校長先生から挨拶と母校の近況報告があり、更に奥山先生より、パワーポイントを使った詳細な校内活動の紹介があり、参加者全員が数多くのスライドを興味深く見入っていた。

更に、「北陵の四季」、「過去三年間の大学入試合格状況」、「校内環境整備事業の概要」などの資料が全員に配布され、理解を深める事ができた。総会の議題は、決算報告の件、役員選任の件、会勢報告

などがあり、いずれも、原案通り、承認された。

今回は、新しい同窓会名簿が発行された事もあり、今まで連絡の取れなかった会員を発掘する事ができ、新しく三名の会員の参加を迎える事ができた事は良かったと思っ

ている。総会議題承認後、各自テーブルで、仕出し弁当を食べながら、和やかな歓談が進められた。歓談途中、久保さん(高8回)から、話題提供として、「大震災、日本再生プランの課題」「日本のエネルギー政策の過去と未来の課題」「反格差デモ世界に拡大」と題した資料の説明があった。

次回の話題提供は、鈴木さん(高16回)にお願いする事とし、本人の快諾を得た。その後、参加者全員が各自の近況を報告したが、多くの報告は自己の健康管理に関する話題で占められた。懇親会の最後には、元応援団長の工藤さん(高32回)のメールと指揮のもと、全員で凱歌、校歌を合唱し散会した。

その後、有志による二次会が、近くの居酒屋で行われた。ここでも、色々な懇談が延々と続き、平成二十三年度の有

意義な総会・懇親会を終了した。



### 関西西北陵会開催の報告

小松 寛明 (高33回)

平成二十四年三月十日(土)、第十四回関西西北陵会を開催した。昨年度は東日本大震災・大津波の影響により中止したため、二年ぶりとなった。例年、会場は大阪だったが、今年と同窓生の天江喜七郎氏(高14回)が館長を務めていた京都国際会館とした。北山の自然や比叡山を一望できる落ち着いたロケーションである。仙台からは大井龍司同窓会会長、庄司恒一校長、奥山

雅敏同窓会事務局長、高橋敦同窓会理事に出席いただいた。出席者は二十六名だった。

総会では校歌斉唱に続き、東日本大震災・大津波追悼として一分間黙祷を捧げた。また、平成二十二年七月三十日に逝去された故鈴木久夫氏(高3回)慰霊のため黙祷を捧げた。星三男関西西北陵会長のあいさつに続き、大井同窓会会長、庄司校長先生からのあいさつをいただいた。関西西北陵会では二年に一度役員改選となっているが、新会長として天江喜七郎氏を選出した。会長以外は留任となった(副会長は麻喜宏雄氏(高9回)、幹事は渡辺敏雄氏(高20回)、木下彰氏(同)、川端公章氏(高26回)、小松寛明(高33回)。恒例の講演会は「生涯学習社会と高齢者教育」と題して、香川大学教授渡邊安男氏(高17回)にお話しをいただいた。懇親会の前に奥山同窓会事務局長からスチール写



真も利用して大震災・大津波後の母校とその周辺の状況を報告していただいた。一般の報道等ではまず知り得ない内容を知ることができ、大変貴重な機会だった。また学校や同窓会関係者のご苦勞にも思いをいたした次第である。

懇親会では出席者の近況をお話いただいた。今回は京都、大坂、神戸の大学に在学する現役学生が六名参加し将来の夢を熱く語っていた。また、イタリア在住の彫刻家武藤順九氏(高20回)が京都に滞在中で飛び入り参加した。なお、京都国際会館の庭園では三月から五月まで氏の作品展示会がある。元応援団の久保田利通氏(高19回)が持参の応援旗でエール、凱歌でお開きとした。総会以外にも小グループの宴会をやっている(時期・場所不定)。関西方面に用事の方はご一報を。

### 「風の環2012展・京都」

高20回卒、ローマ在住の彫刻家、武藤順九氏の力作「武藤順九の宇宙・風の環2012」の展示会が、国立京都国際会館で、三月二十日から五月まで開催されている。

今回はCOP3京都議定書十五周年記念の「光・水・風」プロジェクト企画のプログラムを飾り、武藤氏の大理石彫刻の力作が晴天に恵まれ景勝豊かな国際会館庭園を回遊する形で展示披露された。

併せてオープニングパーティーと武藤順九著「いの



オープニングパーティーであいさつする武藤氏



自然豊かな京都国際会館の庭園に映える武藤氏のモニュメント

ちを彫る」の出版記念会が開催された。多数の関係者名人が参列、京都府知事・京都市市長来賓多数から京都開催が非常に意義があり、武藤氏の今後の国際的な活躍に期待する祝辞がよせられ、参列者の振やかな歓談が続く盛大な会であった。尚、会場には宮城県経済人から依頼の「3・11東日本大震災慰霊のモニュメント」四分の一モデルが披露され、京都新聞にも写真入りで掲載された。

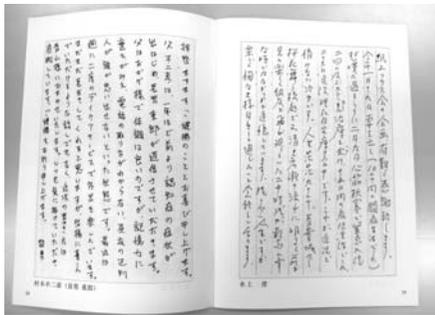
高橋 正道 (高3回)

### 紙上クラス会

青山 史朗 (中40回)

1940年卒業、卒寿を迎えた我々は外出もままならぬ人もおり、集会などはできな  
いまでもせめて紙上クラス会  
をやるうと、推定現存者47名  
の級友に葉書による投稿を呼  
びかけたところ20名から応答  
があった。

入学席次一番のS君の長男  
から「介護認定5介添え歩行  
ですが食欲は旺盛、認知症の  
為家族の顔もわからない」と  
の文に暗然とした。終戦時ソ



中40回の同窓生が寄せた葉書を  
複写し、紙上クラス会としてま  
とめた小冊子「仙台二中四十回  
不惑会 卒寿記念会報」の一部

聯収容所を決死の脱出をし、  
奉天の開拓団グループに潜入  
中発疹チフスに罹り生死の境  
をさまよった時、奉天医大4年  
生のT君に邂逅し注射を打っ  
てもらい無事帰国できたM君  
そして何の治療も受けられず  
むなしく病死したO君のこと  
など、戦いに身を投じた同級  
生の苦難の様子には涙させら  
れた。終わりに殆どの友が何  
かしら病を持ちながら、なお  
明るく余生を送っていること  
を知り、心強い限りであった。

### 「傘寿」の同期会

高橋 正道 (高3回)

母校の桜満開に合わせた開  
催のつもりが、舊の四月二十  
二日、高校3回卒の創成会  
(命名恩師松崎喜一郎先生)  
総会が例年通り江陽グラウンド  
ホテルで開催された。今年  
「傘寿」を迎えて元気な三十  
二名が参集。各人それぞれの  
近況報告と在学中の思い出、  
途中転校者の消息、昨年計報  
に接した同期の友人を悼む話  
など尽きること無く、小久弘  
雄君の手品の至芸を楽しみ賑  
やかな会となった。この会は

学制改革による六年間在学の  
得難い友情は「故郷」と呼ぶ  
にふさわしいとの感想に一同  
共感を持つる年齢かと。横山  
萬平君の恒例の手拍子応援で  
母校の発展と一同の健康を祈  
念し来年の元気な再会を誓い  
散会。



### 自然に順い自然を制す

桜井 昭夫 (高20回)

「何故か山岳部とヨット部  
の学生に诗情豊かな者が多い  
ように思う」で始まる小泉信  
三先生の文章は、私の心を深

くうるおし満ち足りたものに  
した。

これは一九五七年慶応大学  
のヨット部報に掲載されたも  
ので昭和四十二年当時顧問の  
梅津先生がガリ版刷りで作っ  
て下さったものだ。小泉信三  
先生は両部の学生達は自然に  
対峙して命がけて謙虚さを学  
ぶという。ヨットは風上の目  
標に対しタッキングを繰り返  
してジグザグに進みそこに到  
達する。これが表題の意味で  
ある。そして「あと二十年若  
ければやりたいスポーツのひ  
とつにヨットがある」と結ん  
でいる。

今上天皇の養育につとめ、  
美智子皇后とのご結婚の路線  
をひかれた小泉先生がこれ程  
までにヨット部の学生をほめ  
ておられる。仙台二高にヨッ  
ト部が存在しつづける限り学  
校教育に希望が持てるという確信  
する。

### 応援団幹部OB会 総会開催報告

桜井 新作 (高35回)

平成二十四年五月十二日、  
硬式野球定期戦終了後、第二  
十七回応援団幹部OB会総会

が開催されました。

渡邊幸雄校長先生、大井龍  
司同窓会会長の二名をお迎え  
し、高9回〜高51回の皆さん、  
計二十五名が参加しました。

二高借敗後の総会の為祝勝会  
とはなりませんでしたが、日  
中の応援による高揚感と同窓  
生との久方ぶりの再会に大変  
楽しい時間を過ごす事ができ  
ました。

田中於菟彦OB会会長挨拶  
の後、渡邊校長、大井同窓会  
会長より御挨拶をいただき、  
また急遽田中於菟彦OB会会  
長の知人で、五月十三日開催  
の仙台ハーフマラソンに参加  
されるといふアカプルコより  
いらした三名の選手の方が来  
場し、スペイン語でのエール  
交換を行い国際親善交流とい  
うハプニングもありました。  
続いて参加者全員からの近況  
報告の後、来年の二高勝利を  
祈念し「雨か嵐か」〈勝利の  
歌〉〈校歌〉を全員で高らかに  
歌い、閉会となりました。

最後に、年々総会への参加  
者が減少しております、応援  
団幹部OBの皆様の更なる参  
加をお願いしまして、開催報  
告とさせていただきます。



# 定期戦 7-6で惜敗 硬式野球定期戦

好天の下、硬式野球の対一  
 高定期戦が五月十二日、日本  
 製紙クリネックススタジアム  
 で行われました。二高は序盤  
 に5点差をつけられました、  
 終盤に猛追。1点差に詰め寄  
 りましたが、もう一歩及ばず、  
 6-7で敗れました。

二高は1点先制を許した直  
 後の2回表、吉田一貴投手の  
 レフスタンドへ入るホームラ  
 ンで追い付きました。しかし、  
 2回に二つの押し出して2点、  
 4回にも適時打と  
 犠牲フライで3点  
 を奪われました。  
 5回、6回と両  
 チーム無得点で試  
 合が進行。終盤、  
 8番太宰拓真3塁  
 手、9番安部圭亮  
 捕手ら下位打線を  
 中心とする長短打  
 で、7回に2点、  
 8回に3点を挙げ  
 て追い上げました。  
 8回は、1点差に  
 詰めよって、なお  
 1死1、2塁の好  
 機で押し寄せムー

## 3部定期戦結果速報

5月19日(土)に3部定期戦の熱い戦いが繰り広げ  
 られました。昨年は、いずれも一高に敗れましたが、  
 今年は、バレーボールとバスケットボールが雪辱を果  
 たし、一高に勝利しました。

### 試合結果

バレーボール	二高	3-0	一高	<勝ち>
柔道	二高	一高2人残し	一高	<負け>
バスケットボール	二高	88-65	一高	<勝ち>

ドでしたが、この回途中にエー  
 スに代わった一高の二番手投  
 手に抑えられ、力尽きました。  
 同点に追いついた2回、反撃  
 のろしを上げた7回の直後  
 に、一高に追加点を許したの  
 が悔やまれます。  
 スタンドには、現役生、O  
 B、保護者ら大勢が詰めかけ、  
 例年同様の応援合戦を展開し、  
 杜の都の風物詩を繰り広げま  
 した。  
 (理事会)

## 寄付者名簿

平成23年12月  
 平成24年4月分

掲載漏れなどがありま  
 したら、ご容赦ください。  
 ぜひ、お知らせください。

- 〔中39〕 田所 淑郎
- 〔中40〕 矢嶋 一郎
- 〔中41〕 佐々木 嗣郎
- 〔中42〕 穴戸 和夫
- 〔中43〕 内海 碩
- 〔中44〕 鹿江 恭夫
- 〔中45〕 水谷 敏
- 〔中46〕 村井 幹一
- 〔中47〕 木村 泰佳
- 〔中48〕 菊地 正彦
- 〔中49〕 山田 正彦
- 〔中50〕 佐々木 嗣郎
- 〔中51〕 阿部 正宏
- 〔中52〕 磯村 亨
- 〔中53〕 千葉 廉
- 〔中54〕 阿部 進博
- 〔中55〕 菅野 壽俊
- 〔中56〕 成田 昭三
- 〔中57〕 中村 栄一
- 〔中58〕 九里 知彦
- 〔中59〕 佐々木 弘
- 〔中60〕 庄司 博
- 〔中61〕 須藤 正韶
- 〔中62〕 船木 淳一
- 〔中63〕 佐藤 賢哉
- 〔中64〕 佐藤 千春
- 〔中65〕 佐藤 千春
- 〔中66〕 長倉 正忠
- 〔中67〕 田山 雄輔
- 〔中68〕 塩澤 厚
- 〔中69〕 熊谷 直理
- 〔中70〕 熊谷 直理
- 〔中71〕 矢野 浩一郎
- 〔中72〕 栄谷 嘉恭
- 〔中73〕 遠藤 祐弘
- 〔中74〕 西賢 弘昌
- 〔中75〕 花岡 弘昌
- 〔中76〕 及川 貞弘
- 〔中77〕 橋本 貞夫
- 〔中78〕 近藤 正太郎
- 〔中79〕 高橋 晃
- 〔中80〕 山本 昭
- 〔中81〕 庄司 宏
- 〔中82〕 新野 恒夫
- 〔中83〕 斎藤 達夫
- 〔中84〕 斎藤 元康
- 〔中85〕 佐藤 元康
- 〔中86〕 佐藤 元康
- 〔中87〕 小野 徳蔵
- 〔中88〕 市川 芳忠
- 〔中89〕 渡邊 三郎
- 〔中90〕 毛呂 達夫
- 〔中91〕 武内 伸夫
- 〔中92〕 武内 伸夫
- 〔中93〕 中兼 完爾
- 〔中94〕 南小 楠
- 〔中95〕 濑谷 俊郎
- 〔中96〕 伊藤 直衛
- 〔中97〕 伊藤 直衛
- 〔中98〕 伊藤 直衛
- 〔中99〕 伊藤 直衛
- 〔中100〕 伊藤 直衛
- 〔中101〕 伊藤 直衛
- 〔中102〕 伊藤 直衛
- 〔中103〕 伊藤 直衛
- 〔中104〕 伊藤 直衛
- 〔中105〕 伊藤 直衛
- 〔中106〕 伊藤 直衛
- 〔中107〕 伊藤 直衛
- 〔中108〕 伊藤 直衛
- 〔中109〕 伊藤 直衛
- 〔中110〕 伊藤 直衛
- 〔中111〕 伊藤 直衛
- 〔中112〕 伊藤 直衛
- 〔中113〕 伊藤 直衛
- 〔中114〕 伊藤 直衛
- 〔中115〕 伊藤 直衛
- 〔中116〕 伊藤 直衛
- 〔中117〕 伊藤 直衛
- 〔中118〕 伊藤 直衛
- 〔中119〕 伊藤 直衛
- 〔中120〕 伊藤 直衛
- 〔中121〕 伊藤 直衛
- 〔中122〕 伊藤 直衛
- 〔中123〕 伊藤 直衛
- 〔中124〕 伊藤 直衛
- 〔中125〕 伊藤 直衛
- 〔中126〕 伊藤 直衛
- 〔中127〕 伊藤 直衛
- 〔中128〕 伊藤 直衛
- 〔中129〕 伊藤 直衛
- 〔中130〕 伊藤 直衛
- 〔中131〕 伊藤 直衛
- 〔中132〕 伊藤 直衛
- 〔中133〕 伊藤 直衛
- 〔中134〕 伊藤 直衛
- 〔中135〕 伊藤 直衛
- 〔中136〕 伊藤 直衛
- 〔中137〕 伊藤 直衛
- 〔中138〕 伊藤 直衛
- 〔中139〕 伊藤 直衛
- 〔中140〕 伊藤 直衛
- 〔中141〕 伊藤 直衛
- 〔中142〕 伊藤 直衛
- 〔中143〕 伊藤 直衛
- 〔中144〕 伊藤 直衛
- 〔中145〕 伊藤 直衛
- 〔中146〕 伊藤 直衛
- 〔中147〕 伊藤 直衛
- 〔中148〕 伊藤 直衛
- 〔中149〕 伊藤 直衛
- 〔中150〕 伊藤 直衛
- 〔中151〕 伊藤 直衛
- 〔中152〕 伊藤 直衛
- 〔中153〕 伊藤 直衛
- 〔中154〕 伊藤 直衛
- 〔中155〕 伊藤 直衛
- 〔中156〕 伊藤 直衛
- 〔中157〕 伊藤 直衛
- 〔中158〕 伊藤 直衛
- 〔中159〕 伊藤 直衛
- 〔中160〕 伊藤 直衛
- 〔中161〕 伊藤 直衛
- 〔中162〕 伊藤 直衛
- 〔中163〕 伊藤 直衛
- 〔中164〕 伊藤 直衛
- 〔中165〕 伊藤 直衛
- 〔中166〕 伊藤 直衛
- 〔中167〕 伊藤 直衛
- 〔中168〕 伊藤 直衛
- 〔中169〕 伊藤 直衛
- 〔中170〕 伊藤 直衛
- 〔中171〕 伊藤 直衛
- 〔中172〕 伊藤 直衛
- 〔中173〕 伊藤 直衛
- 〔中174〕 伊藤 直衛
- 〔中175〕 伊藤 直衛
- 〔中176〕 伊藤 直衛
- 〔中177〕 伊藤 直衛
- 〔中178〕 伊藤 直衛
- 〔中179〕 伊藤 直衛
- 〔中180〕 伊藤 直衛
- 〔中181〕 伊藤 直衛
- 〔中182〕 伊藤 直衛
- 〔中183〕 伊藤 直衛
- 〔中184〕 伊藤 直衛
- 〔中185〕 伊藤 直衛
- 〔中186〕 伊藤 直衛
- 〔中187〕 伊藤 直衛
- 〔中188〕 伊藤 直衛
- 〔中189〕 伊藤 直衛
- 〔中190〕 伊藤 直衛
- 〔中191〕 伊藤 直衛
- 〔中192〕 伊藤 直衛
- 〔中193〕 伊藤 直衛
- 〔中194〕 伊藤 直衛
- 〔中195〕 伊藤 直衛
- 〔中196〕 伊藤 直衛
- 〔中197〕 伊藤 直衛
- 〔中198〕 伊藤 直衛
- 〔中199〕 伊藤 直衛
- 〔中200〕 伊藤 直衛

「創立百十周年記念事業・校内環境整備基金」に関するお願い  
 母校仙台一高では、この三月に63回生、三二一名が元氣よく巣立ち、大学入試でも立派な成績を  
 残し、また四月には新一年生三二〇名が入学し、清新な気が漲っているところです。  
 さて、同窓会では奨学会及びPTAと連携し、平成二十二年に創立一〇〇周年を迎えたわが母校  
 のますますの発展を願い、後輩たちの勉学及びスポーツの環境を少しでも改善し、一層の躍進を期  
 するため「伝統が息づく新しい仙台二高 校内環境整備基金」を設立し、同窓生各位のご協力をいた  
 だきながら校内環境整備事業を進めてまいりました。  
 お陰様で予定しており「三船十段の揮毫」「文武一道」記念碑の設置、「三年生教室用机・  
 椅子の更新」及び「北校庭整備」などは完成または一定の進捗を見たところであります。  
 今後は「トレーニング用周回路の設置」や「講堂の設備充実」などを予定しているところであり  
 ます。しかしながら、平成二十三年年度末で募金総額は一千数百万円と目標の三分の一という状況で  
 す。県には、学校の方から再三にわたり予算要望を提出しておりますが、大震災の復興事業で手一  
 つきまは、重ねてのお願いで恐縮ですが、以上のような状況をご察察いただきまして、なお  
 一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

目録金額 五千万円  
 募集金額 一〇一千万円、三〇〇万以上  
 募集期間 平成二十五年三月まで  
 募金口座 仙台二高校内環境整備基金  
 (郵便振替) 口座番号: 〇〇三三三〇一六一〇八二五八(校内環境整備基金委員会)



平成24年度 大学入試合格者数 (延べ人数)

( ) 内現役

年度別	24年3月	23年3月	22年3月
大学	合格者数	合格者数	合格者数
国立大学	217 (137)	221 (129)	233 (125)
公立大学	20 (11)	16 (10)	20 (12)
私立大学	419 (92)	397 (131)	374 (103)
大学院・専修・その他の学校	1	3 (1)	4 (1)
総計	657 (240)	637 (271)	631 (241)
北海道大	8 (5)	8 (5)	9 (5)
弘前大	4 (1)	4 (2)	2
岩手大	7 (6)	3 (1)	5 (2)
東北大			
文	6 (4)	7 (4)	8 (6)
法	8 (7)	5 (2)	6 (5)
経済	16 (10)	6 (1)	16 (11)
教育	6 (6)	9 (4)	5 (4)
理	6 (6)	4 (4)	8 (5)
工	35 (27)	36 (21)	44 (22)
医	17 (7)	12 (4)	13 (6)
医	5 (3)	1 (1)	1 (1)
歯	3 (2)	4 (2)	3
薬	1 (1)	1 (1)	6 (1)
農	3 (2)	4 (4)	15 (7)
東北大小計	106 (75)	89 (48)	125 (68)
宮城教育大	5 (5)	10 (10)	5 (2)
秋田大	5 (2)	3 (2)	4 (3)
山形大	24 (13)	24 (15)	12 (5)
福島大	2 (1)	2 (1)	1
茨城大	1	5 (1)	1
筑波大	1 (1)	4 (4)	5 (3)
群馬大		1	1
宇都宮大			1 (1)
埼玉大	5 (3)	7 (2)	6 (2)
千葉大	2 (2)	3 (3)	7 (2)
お茶の水女子大	1 (1)	2 (2)	
電気通信大		1 (1)	
東京大			
文Ⅰ	2 (1)	3 (2)	3 (2)
文Ⅱ	3 (3)	2	2 (1)
文Ⅲ	2 (1)	2	2 (1)
理Ⅰ	3	5 (5)	2 (1)
理Ⅱ	2 (1)		2
理Ⅲ			1 (1)
(後期)			
東京大小計	12 (6)	12 (7)	12 (6)
東京医歯大	1 (1)	3 (3)	
東京外語大		2 (1)	3 (3)
東京学芸大	2 (1)	2 (1)	4 (3)
東京芸術大	1		1 (1)
東京工業大	2 (2)	2 (2)	1 (1)
東京農工大	1	3 (1)	3 (3)
一橋大	5 (2)	9 (3)	6 (4)
横浜国立大	3 (1)	4 (3)	3 (2)
新潟大	1	5 (3)	3 (1)
金沢大	1	1 (1)	1
岐阜大	1		
山梨大			1
信州大	1		1
静岡大			1 (1)
浜松医科大		1 (1)	
名古屋大	1 (1)	1 (1)	
京都大	6 (3)	7 (4)	6 (4)
大阪大	2 (1)	1	
神戸大	1 (1)	1	1 (1)

年度別	24年3月	23年3月	22年3月
大学	合格者数	合格者数	合格者数
国立大学	217 (137)	221 (129)	233 (125)
公立大学	20 (11)	16 (10)	20 (12)
私立大学	419 (92)	397 (131)	374 (103)
大学院・専修・その他の学校	1	3 (1)	4 (1)
総計	657 (240)	637 (271)	631 (241)
鳥取大	1 (1)		
岡山大	1 (1)	1 (1)	
広島大	1 (1)		
徳島大	1		
熊本大	1		
九州工業大			1 (1)
長崎大			1 (1)
国立大学合計	217 (137)	221 (129)	233 (125)
札幌医科大		1	
岩手県立大		1 (1)	
宮城大	2 (2)	2 (2)	8 (6)
秋田県立大			
国際教養大	2 (1)	2 (1)	2 (2)
会津大			
福島県立医大	5 (1)	3 (1)	3 (2)
茨城県立医大	1 (1)		
高崎経済大	2 (2)	3 (3)	1
埼玉県立大			1
首都大東京	3 (2)		3 (2)
都留文科大	1 (1)	2 (2)	
静岡県立大	3 (1)	1	2
名古屋市立大			
神戸市立外国語大	1		
兵庫県立大		1	
公立大学合計	20 (11)	16 (10)	20 (12)
国公立大学合計	237 (148)	237 (139)	253 (137)
酪農学園大	1 (1)		
青森大			1
岩手医科大	6	6 (2)	7 (1)
尚絅学院大			2
東北学院大	15 (5)	13 (5)	17 (4)
東北工業大		3 (2)	
東北福祉大	1	1	1 (1)
東北文化学園大			1
東北薬科大	5	4 (2)	5 (1)
東北芸術工大	1		
国際医療福祉大			2
自治医科大	1 (1)	1 (1)	2 (2)
獨協医科大	6	1 (1)	1
白鷲大	1		1
文教大	1	2	
帝京平成大		1 (1)	
東京歯科大			1 (1)
明海大		1 (1)	
青山学院大	11 (6)	3 (2)	5 (3)
亜細亜大	1		
杏林大	2	2 (1)	3 (2)
慶應義塾大	25 (7)	30 (7)	21 (9)
工学院大	2		1 (1)
國學院大	3 (3)		1
国際基督教大	1 (1)		2 (1)
国士舘大	1		
駒澤大	4 (1)		
芝浦工大	12 (1)	12 (7)	16 (4)
順天堂大	1	2	2 (1)
上智大	3 (1)	2 (1)	1
昭和大学	5 (1)	3 (1)	4
昭和薬科大	1		1 (1)
成蹊大	2	1	2

年度別	24年3月	23年3月	22年3月
大学	合格者数	合格者数	合格者数
成城大	4 (1)		1
聖心女子大	1 (1)		
専修大	6 (1)		1
多摩美術大	1		1 (1)
中央大	61 (8)	70 (25)	47 (10)
津田塾大	1 (1)	2	2 (2)
帝京大	1 (1)		5 (4)
東海大	3		
東京医科大	1		2
東京慈恵会医大	1		4
東京女子大	1	2 (1)	
東京工科大	2 (2)	2 (2)	1
東京工芸大			1 (1)
東京電機大	1	1 (1)	
東京都市大	2 (1)	1	
東京農業大	9 (4)	7 (2)	6 (3)
東京理科大	45 (11)	48 (14)	56 (10)
東京薬科大	1		
東邦大	1	1	3
東洋大	3		4
二松學舎大	1 (1)		
日本大	8	8 (3)	7 (1)
日本医科大	1	1	1
日本歯科大		4	
日本獣医生命大		2	1 (1)
日本女子大		1 (1)	
法政大	12 (4)	25 (6)	15 (3)
星薬大	1		
武蔵野野大			3 (2)
明治大	59 (8)	51 (11)	39 (4)
明治学院大	1		1
明治薬科大			1
立教大	5	12 (7)	5 (2)
早稲田大	37 (13)	41 (14)	42 (20)
麻布大		1 (1)	1 (1)
神奈川大		2	2
北里大		2	7 (1)
聖マリアンナ医大	1 (1)	3	
金沢医科大	1	1	1
愛知学院大	1		
中京大	3		
中部大	2		
同志社大	4	6 (1)	1
立命館大	16 (5)	11 (8)	6 (2)
大阪医科大		1	
大阪工業大	6		
近畿大	1		
関西大	1 (1)		
久留米大	1		
産業医科大			3 (1)
私立大学合計	419 (92)	397 (131)	374 (103)
防衛大学校	1	3 (1)	1
防衛医科大			2
航空保安大			1 (1)
大学院合計	1	3 (1)	4 (1)
専修各種			
その他の大学			
専・他合計			
合計	657 (240)	637 (271)	631 (241)

## 平成23年度 同窓会費納入状況

平成24年 3月31日現在

会報 発送数	口数	納入率	入金額	会報 発送数	口数	納入率	入金額	会報 発送数	口数	納入率	入金額			
中28	8	0	0%	0	高10	261	95	36.4%	285,000	高39	218	23	10.6%	69,000
中29	7	1	14.3%	3,000	高11	262	118	45.0%	354,000	高40	223	29	13.0%	87,000
中30	4	2	50%	6,000	高12	256	84	32.8%	252,000	高41	232	15	6.5%	45,000
中31	7	0	0%	0	高13	220	74	33.6%	222,000	高42	244	16	6.6%	48,000
中32	6	2	33.3%	6,000	高14	253	95	37.5%	285,000	高43	220	20	9.1%	60,000
中33	10	3	30%	9,000	高15	243	77	31.7%	231,000	高44	216	16	7.4%	48,000
中34	14	4	28.6%	12,000	高16	245	66	26.9%	198,000	高45	249	12	4.8%	36,000
中35	17	5	29.4%	15,000	高17	247	73	29.6%	219,000	高46	238	24	10.1%	72,000
中36	12	3	25%	9,000	高18	236	68	28.8%	204,000	高47	257	18	7.0%	54,000
中37	24	9	37.5%	27,000	高19	216	56	25.9%	168,000	高48	243	12	4.9%	36,000
中38	21	1	4.8%	3,000	高20	197	44	22.3%	132,000	高49	258	18	7.0%	54,000
中39	27	15	55.6%	45,000	高21	275	65	23.6%	195,000	高50	232	14	6.0%	42,000
中40	45	12	26.7%	36,000	高22	303	74	24.4%	222,000	高51	224	18	8.0%	54,000
中41	46	15	32.6%	45,000	高23	199	56	28.1%	168,000	高52	210	16	7.6%	48,000
中42	51	31	60.8%	93,000	高24	210	33	15.7%	99,000	高53	239	15	6.3%	45,000
中43	52	28	53.8%	84,000	高25	211	45	21.3%	135,000	高54	244	14	5.7%	42,000
中44	77	31	40.3%	93,000	高26	226	45	19.9%	135,000	高55	243	26	10.7%	78,000
中45	90	38	42.2%	114,000	高27	224	34	15.2%	102,000	高56	252	27	10.7%	81,000
中46	94	31	33.0%	93,000	高28	209	48	23.0%	144,000	高57	269	26	9.7%	78,000
中47	112	31	27.7%	93,000	高29	201	25	12.4%	75,000	高58	281	29	10.3%	87,000
高 1	113	35	31.0%	105,000	高30	205	35	17.1%	105,000	高59	285	23	8.1%	69,000
高 2	147	42	28.6%	126,000	高31	193	25	13.0%	75,000	高60	285	38	13.3%	114,000
高 3	166	75	45.2%	225,000	高32	231	37	16.0%	111,000	高61	289	47	16.3%	141,000
高 4	193	87	45.1%	261,000	高33	220	31	14.1%	93,000	高62	301	51	16.9%	153,000
高 5	189	69	36.5%	207,000	高34	212	26	12.3%	78,000	高63	312	72	23.1%	216,000
高 6	209	81	38.8%	243,000	高35	222	24	10.8%	72,000	合計				9,045,000
高 7	176	61	34.7%	183,000	高36	221	31	14.0%	93,000					1口 ¥3,000-
高 8	217	78	35.9%	234,000	高37	212	16	7.5%	48,000					
高 9	219	84	38.4%	252,000	高38	208	22	10.6%	66,000					

原稿を  
お寄せください

同窓会会報担当は同窓生の皆さんからの積極的な寄稿をお待ちしています。地域、職域の集まり、同期会、部活動のOB会…、さまざまな活動の報告、話題などをお寄せください。「北陵健児の行くところ(進学編)」「同(職業編)」をはじめ、一人一人の母校の思い出、母校への思いをつづった文章も歓迎です。連載中の「応援歌探訪」に関する応援歌の成り立ちや作者などについての関連情報、「思い出のアルバム」コーナーへの貴重な写真の提供などもお待ちしております。

## ◇原稿送り先

〒980-8631

仙台市青葉区川内澗橋通1

仙台二高同窓会事務局

FAX 022-221-5686

編 渡邊安男先生御退職記念  
行事実行委員会

「渡邊安男先生退職記念誌」  
渡邊 安男殿（高17回）

### 同窓生からの寄贈本・絵画の紹介

近年、会費納入が増えず、同窓会活動は苦しい台所事情が続いています。二十、二十一年度と会費納入者が三千人を大きく割り込み、二十二、二十三年度、冬号に納入呼びかけの記事を掲載し、払込用紙を同封したところ三千人前後に回復しましたが、さらなる増収が必要です。

会報を読まれた皆さんが一人でも多く会費を納めていただけよう望みます。納入は、会報に同封した払込用紙で郵

### 会費納入について

便局からでもできますし、銀行口座もご利用いただけます。銀行口座に納める際は、振込手数料を差し引いた額を振り込んでください。また、振込用紙には、お名前のほか、卒業回期（または卒業年）を記入ください。

振込口座は次の通りです。

◇七十七銀行 芭蕉の辻支店  
普通口座  
口座番号 ○〇九七八四五  
宮城県仙台第二高等学校同窓会 会長 大井 龍司

### 「寄贈絵画」

「佇まい」  
大井 浄殿（高6回）  
作 本人

### 平成23年度 年会費納入率・納入額ベスト5

平成24年 3月31日現在

#### 【納入率ベスト5】

順位	回 期	納入率
1	中42回	60.78%
2	中43回	53.85%
3	中39回	53.57%
4	中30回	50.00%
5	高3回	45.18%

#### 【納入額ベスト5】

順位	回 期	納入額
1	高11回	354,000円
2	高10回	285,000円
2	高14回	285,000円
4	高4回	261,000円
5	高9回	255,000円

### 平成23年度事業報告

5月6日	金	開校記念講演会	本校講堂	13時
5月14日	土	評議員会	北 陵 館	9時30分
6月2日	木	当番回期打ち合わせ会 (高22, 34, 35, 46, 47回)	北 陵 館	18時30分
6月10日	金	同窓会報春季号発刊		
7月2日	土	総会	江陽グランドホテル	17時00分
7月16日	土	被災した在校生への見舞金贈与	本校会議室	12時30分
9月7日	水	校内環境整備委員会	本校会議室	18時
9月30日	金	校内環境整備委員会	本校会議室	18時
10月7日	金	大運動会（活動助成）	本校校庭	
12月7日	水	当番回期打ち合わせ会 (高23, 35, 36, 47, 48回)	北 陵 館	18時30分
12月		クラブ活動後援会助成		
12月10日	土	同窓会報第44号発刊		
12月10日	土	評議員会	北 陵 館	10時00分
1月13日	金	当番回期打ち合わせ会	江陽グランドホテル	17時30分
1月20日	金	臨時総会・PTA同窓会合同懇親会	江陽グランドホテル	17時30分
2月29日	水	同窓会入会式	本校講堂	10時
理事会開催 (5/13, 7/1, 7/27, 8/24, 9/14, 10/26, 11/26, 12/14, 2/8, 3/14)			北 陵 館	

### 平成24年度事業計画案

4月27日	金	大運動会（活動助成）	本校校庭	
5月1日	火	開校記念講演会	本校講堂	13時15分
5月26日	土	評議員会	北 陵 館	10時00分
6月1日	金	同窓会報春季号発刊		
6月7日	木	当番回期打ち合わせ会 (高23, 35, 36, 47, 48回)	北 陵 館	18時30分
6月28日	木	当番回期打ち合わせ会 (高23, 35, 36, 47, 48回)	江陽グランドホテル	18時30分
7月7日	土	総 会	江陽グランドホテル	17時00分
7月中旬		仙台二高クラブ活動後援会への寄付		
9月1.2日		北陵祭ブース出展		
10月		評議員会		
12月上旬	水	当番回期打ち合わせ会 (高24, 36, 37, 48, 49回)	北 陵 館	18時30分
12月	土	同窓会報第45号発刊		
1月18日	金	当番回期打ち合わせ会 (高24, 36, 37, 48, 49回)		17時30分
1月25日	金	PTA同窓会合同懇親会		17時30分
2月28日	木	同窓会入会式	本校講堂	10時00分
理事会開催（原則として第2水曜日）			北 陵 館	

受賞  
瑞宝章大綾章  
阿部 博之殿（高7回）

平成24年度  
仙台二高学校評議員  
権 奇 哲  
東北大学大学院  
経済学研究科教授  
鈴木 邦 夫  
地元町内会役員  
同窓生（高11回）  
豊 澤 弘 伸  
宮城学院女子大学  
学芸学部教授  
吉 田 幸 子  
元PTA役員

◎常任委員◎  
三年一組 深松 栞  
三年二組 佐藤 淳哉  
三年三組 半田 伸  
三年四組 徳永 航平  
三年五組 徳田 慎平  
三年六組 大泉 周平  
三年七組 小坂 徹  
三年八組 山田 学倫

### 高64回生常任委員一覧

**[一般会計] 平成23年度収支決算報告及び平成24年度予算案**

(平成23年 4月 1日～平成24年 3月31日)

(単位：円)

区 分	項 目	予算額 (A)	実績額 (B)	(B) - (A)	平成24年度予算案
収 入	前年度繰越金	2,023,233	2,023,233	0	1,270,950
	年会費	9,000,000	9,045,000	45,000	9,000,000
	(人数)	(3,000人)	(3,015人)	(15人)	(3,000人)
	入会金	1,152,000	1,119,600	-32,400	1,152,000
	(人数)	(320人)	(311人)	(-9人)	(320人)
	受取利息	1,000	391	-609	1,000
	寄付	0	0	0	0
	名簿等売上金	300,000	315,500	15,500	0
	その他収入	0	80,200	80,200	220,000
特別会計受入金	0	0	0	0	
合 計 (C)	12,476,233	12,583,924	107,691	11,643,950	
支 出	総会等案内発送費	2,200,000	2,309,881	109,881	2,300,000
	(発送通数)	(16,000通)	(15,609通)	(-391通)	
	秋季会報発送費	2,600,000	2,864,688	264,688	2,800,000
	(発送通数)	(16,000通)	(16,048通)	(48通)	
	校内活動助成費	1,100,000	1,010,000	-90,000	1,100,000
	卒業記念品	500,000	713,265	213,265	500,000
	総会旅費補助	250,000	219,640	-30,360	250,000
	総会補填	350,000	199,047	-150,953	450,000
	(総会出席者数)	(150人)	(85人)	(-65人)	
	P同懇補填	200,000	76,337	-123,663	200,000
	(出席者数)	(150人)	(89人)	(-61人)	
	地区総会等旅費	300,000	341,852	41,852	350,000
	地区総会等祝儀	100,000	150,000	50,000	150,000
	会議費	150,000	114,642	-35,358	150,000
	慶弔費	170,000	2,002,605	1,832,605	200,000
	人件費	600,000	541,610	-58,390	720,000
	事務消耗品費	100,000	136,640	36,640	100,000
	切手葉書送料	150,000	47,190	-102,810	150,000
	電話料	300,000	186,121	-113,879	300,000
	振込手数料	400,000	288,470	-111,530	400,000
	設備費	50,000	0	-50,000	200,000
	雑費	80,000	14,446	-65,554	80,000
	旅費	150,000	96,540	-53,460	100,000
教育問題研究費	200,000	0	-200,000	200,000	
110周年記念事業費	0	0	0	0	
特別会計繰入	2,000,000	0	-2,000,000	0	
予備費	526,233	0	-526,233	943,950	
合 計 (D)	12,476,233	11,312,974	-1,163,259	11,643,950	
繰越金	(C) - (D)	0	1,270,950		
残 高 (H24. 3. 31)	現金(事務局)		42,260		
	現金(事務所)		66,931		
	普通預金(七十七)		1,037,719		
	郵便振込(泉南中山)		124,040		
	郵便貯金(大町)		0		
	仮払金		0		
	預り金		0		
	総会勘定差引合計		1,270,950		

**[特別会計] 平成23年度収支決算報告**

(平成23年 4月 1日～平成24年 3月31日)

(単位：円)

区 分	項 目	収 支 決 算 額
収 入	前年度繰越金	13,385,790
	預金利息	4,256
	合 計	13,390,046
支 出		
	合 計	0
次期繰越金		13,390,046
預金等残高 (H24. 3. 31)	定期預金 (七十七銀行)	13,200,000
	普通預金 (七十七銀行)	190,046
		13,390,046

# 今春の人事異動

## ▼転出された先生方▲

高橋 時明 主幹教諭(数学)

(石巻西高校・教頭)

金澤 俊範 教諭(物理)

(名取高校)

藤垣 庸二 教諭(保健)

(東松島高校・主幹教諭)

早坂 重行 教諭(国語)

(教職員課・主幹)

大津 直 総務主幹(事務次長)

(鹿島台商業高校・事務室長)

加藤 直子 主査

(仙台三桜高校・主任主査)

清水 茂 主任技師

(県工業高校・主任技師)

▼校内昇格された先生方▲

佐竹 正彦 教諭(数学)

(仙台第二高校・主幹教諭)

渡邊 重夫 教諭(社会)

(仙台第二高校・主幹教諭)

添田 雅史 主事

(仙台第二高校・主査)

▼転入された先生方▲

渡邊 幸雄 校長(数学)

(教育研修センター)

村上 二郎 教諭(物理)

(仙台第三高校)

大槻 聡 教諭(国語)

(仙台第三高校)

佐藤 利幸 教諭(数学)

(名取北高校)

千葉奈美子 教諭(数学)

(宮城広瀬高校)

渡邊 英樹 教諭(英語)

(古川黎明高校)

佐藤 光 教諭(保健)

(津谷中学校)

羽田 周平 教諭(物理)

(新規採用)

長谷川宏敏 副参事兼事務室長

(佐沼高校)

大岩 昌弘 主幹(事務次長)

(視覚支援学校)

加藤 友香 主任主査

(企画部統計課)

三浦 哲雄 主任技師

(名取高校)

梅田 茂 非常勤講師(物理)

(古川黎明高校)

菊地めぐみ 非常勤講師(美術)

(鶴ヶ丘中学校)

菊田 翔太 非常勤講師(保健)

(八木山中学校)

▼退職された先生方▲

庄司 恒一 校長(理科)

新谷 仁 教諭(英語)

内田 泰晴 教諭(数学)

熱海 芳雄 教諭(保健)

鎌田 照治 事務部長

早坂 孝志 非常勤講師(化学)

芳賀 廣志 非常勤講師(美術)

羽田 周平 非常勤講師(物理)

## 会員計報

(平成24年5月分まで)

平成16年 山田亜紀夫殿 高13回

平成19年 西条 篤郎殿 高20回

平成20年 山内 勇殿 中30回

平成21年 高松 一忠殿 中37回

平成22年 庄子 逸也殿 中36回

八木 陸夫殿 中29回

平成23年 桃生 寛和殿 高24回

上田 晋殿 中34回

大槻 一郎殿 中41回

佐伯 垂穂殿 中43回

渥美 進殿 中47回

小泉 林殿 中37回

伊藤 公男殿 中40回

浅野 明敏殿 高14回

吉岡 祥次殿 高12回

沢田 圭市殿 高5回

菅原 新実殿 高1回

菅原 悦郎殿 中44回

大槻 善男殿 高17回

安藤 寿哉殿 中45回

相田 正二殿 中43回

吉田 功殿 高1回

長野 真夫殿 中42回

菊池 成幸殿 高5回

畔田 長嗣殿 高5回

丹野 愛一殿 中46回

窪田 皓殿 高12回

秋保 茂殿 中43回

佐藤 敏夫殿 中33回

山崎 洋資殿 高5回

須藤 紀春殿 高7回

栗根 憲行殿 高7回

高橋 信殿 中42回

今井 孝殿 高19回

丸谷 孝郎殿 中39回

村上忠太郎殿 中39回

佐藤 昌敏殿 高8回

白石 尚美殿 中47回

平成24年 小林 英樹殿 高22回

利孝殿 高1回

柴田 克彦殿 高1回

三浦 秀夫殿 高23回

笠原 種夫殿 中42回

梅津 英彦殿 中44回

小森 貞夫殿 中39回

橋本 芳明殿 高4回

秀男殿 高6回

遠藤 延安殿 高20回

44号24ページの会員計報

欄にある高橋信雄氏(中44

回)は御存命です。昨年、

同期を名乗る方から逝去し

たとの連絡を受けて掲載し

ましたが、ご本人から間違

いとの電話をいただきました。

訂正してお詫びいたします。

次号45号の原稿締切は平成

24年10月20日(土)です。

同窓会事務局まで原稿をど

うぞお寄せください。

## 編集後記

大井会長の新体制で、会報も衣替えを試みています。第一弾として表紙を母校の桜並木と目次で作りました。いかがですか。平成八年以降の会報は同窓会のホームページにも掲載していますが、「目次があつたほうが閲覧しやすい」との声もあり、その対策も含めて読みやすい会報を目指して試みました。そのほかにも、会員の皆さまの意見を参考にしながら、よりよい会報を目指します。皆さまからの寄稿をはじめとするご協力をよろしく願います。

(高30回 高橋敦)

## 「北陵祭での同窓会ブースへの作品出展のお願い」

九月一、二日の母校の北陵祭で、同窓会のブースを設け、同窓会の活動の一端をPRすることになりました。会員の皆さまにも日頃取り組まれていた絵画、写真、短歌、俳句などの作品の提供をお願いします。各回期で行っているイベントの展示でも結構です。

八月二十四日(金)まで

同窓会事務局(北陵館内、電話022-221-565)

までお持ちください。月、水、金曜日の10時15時に受け付けます。担当は佐々木恵里。

なお、同ブースでは「仙台二中・二高の名入りオリジナルクッキー」の販売を予定しています。

(理事会)